T-1304110

組立・施工・取扱説明書

お客様保管用 DBD-WS1609 e-ウッド シェッズ 16・09

このたびは、当社商品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。この商品を安全に正しく施工していただくため、この「組立・施工・取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。

安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解して本文をお読みください。また、本説明書および当社カタログに記載されている内容に反する施工やご使用をされた場合、保証対象外となります。

安全記号	
⚠ 警 告	●取り扱いを誤った場合、使用者が死亡もしくは重傷を負う可能性がある危険度が「高い」内容を示しています。
⚠ 注 意	●取り扱いを誤った場合、使用者が中、軽傷を負う可能性がある内容、または物的損害の可能性があり危険度が「中、軽い」内容を示しています。
一般記号	
ポイント	●組み立て、施工手順で、特に注意して作業を進める必要がある内容を示しています。 ●注意して守っていただかないと、組み立て、施工が困難、あるいは強度不足のため、施工後不具合が発生する可能性がある内容を示しています。

組立・施工上のご注意

警 告

●風の強い場所、積雪の多い地域や地盤の弱い場所での施工には、控え柱等の補強が必要です。
特に柱の固定を確実に行ってください。転倒など事故の原因となります。
●屋上やがけの上など、商品が落下した場合にケガをする可能性のある高所には設置しないでください。
●お子様が踏み台として使用し、転落事故につながる場所への設置は絶対にしないでください。
●施工時、コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)や、コンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)で塩素系や強アルカリ系のものは、絶対使用しないでください。使用すると、金属部分が腐食し、破損、倒壊の可能性があり危険です。

注 意

●組み立て、施工場所の整理整頓、適切な安全確保を行ってください。
高所作業での転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、暗所作業時の照度の確保などを必ず行ってください。
●工具、器具、保護具(作業服、保護帽、安全靴、安全帯、その他作業者身体の保護具)などは、
安全機能を十分に確認し、正しく使用してください。また不具合のあるものは使用しないでください。
●大型商品は、安全に組み立てるため、施工は3人以上で行ってください。
●組み立て、施工は正しく行わないと危険です。組み立て、施工前に必ず取扱説明書をお読みください。
●必ず取扱説明書に従って正しく施工してください。正しい順序で施工されなかった場合には、
商品の強度など性能が低下するほか、倒壊につながる場合があります。
●梱包明細表で必要な部材、部品がすべて揃っているか確かめてから、組み立ててください。
●設置場所に正しく施工でき、不具合なく使用することができることを確認してください。
●給湯、暖房機などの熱排気が商品で妨げられ建物内部にこもったり、
適切な換気ができなくなるような場所には設置しないでください。
●通路など、通行の妨げになる場所には設置しないでください。
●給排水管などの地下埋設物に影響を与えないか位置を確認してから施工してください。
●防犯上、不審者が踏み台として使用し、侵入が容易になるような場所には設置しないでください。
●高台、強風地域、特にがけの上、屋上、風の通り道などへの設置は避けてください。
●風の強い場所では、商品の周囲に十分な空間を確保してください。
周囲を囲うと商品に予想以上の風圧がかかり、破損、倒壊の可能性があります。

組立・施工上のご注意

注 意

●水はけの悪いと思われる場所には設置しないでください。
●常に水や温水に触れたり水没する場所、また温泉やそれに類する水質に触れたり水没したりする場所には設置しないでください。
●振動、衝撃のある場所には設置しないでください。商品の破損、倒壊につながります。
●大気中に強い酸やアルカリ成分が多く含まれる場所には設置しないでください。商品の性能が低下する可能性があります。
●給湯、暖房機などの排気熱が直接商品に当たると被膜の劣化、はく離につながります。熱の影響のない場所に設置してください。
●本商品は、平坦地に設置してください。傾斜地に設置すると、ゆがみやガタツキが生じる恐れがあります。
●腐食防止のため、必ず基礎部にはコンクリート基礎石（平板、お客様手配）をご使用ください。
●基礎は安全のため必要な強度を十分確保してください。
●組み立て、施工時は、商品にキズがつかないように十分注意してください。
●組み立て、施工用のボルト、ビスは規定本数（当社指定純正品）を確実に締め付け、固定してください。
●商品の切り口に、ささくれ、切断時のバリが残っている場合があります。手などにケガをしないように、お取り扱いには十分注意してください。また施工後は、ささくれ、バリを取ってください。
●商品のささくれを見つけた場合は取り除いてください。特に切り詰めなど現場加工の場合は必ず行ってください。
●組み立て、施工時、商品にコンクリート（またはモルタル）の抽出液が付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性のため、施工後シミ、ムラなどが発生し、外観不良の原因になります。付着した場合は、速やかに水を含ませた布などでふき取ってください。
●コンクリート、モルタルに木材が直接触れると変色する可能性があります。すき間をあける等の対策をしてください。
●部材の切断時に切り粉を吸い込まないように、マスク等を着用してください。
●塗料の使用時には、塗料に記載されている注意事項を厳守してください。
●組み立て、施工終了後は、必ず商品が正しく組み立てられているか確認してください。特にボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。
●施工後の残材は他の一般廃棄物と区別し、素材別に分けた上で専門業者に処理を委託してください。
●構造物、建築物の屋根などからの雪の落下を受けない位置に設置してください。
●積雪のある地域では、雪により商品が倒壊しても危険がない場所に設置してください。
●凍上する可能性のある寒冷地に設置する場合は、必ず凍上線の下まで基礎部を確保するように施工してください。
●商品の改造は絶対にしないでください。商品の性能が落ち、強度不足による破損、倒壊の可能性があり危険です。
●安全を確保するため、組み立て、施工は必ず専門の業者が行ってください。
●誤った使用を避けるため、組み立て、施工終了後、必ず取扱説明書はお施主様にお渡しして、取り扱いの注意、メンテナンスについて説明してください。

使用上のご注意

警告

●商品の近くで火気を使用しないでください。熱の影響により、商品の変形や火災の原因になります。
●運動具やお子様の遊具、踏み台、ふとんや洗濯物を干す等、目的以外の使用は絶対にしないでください。
●経年変化による木の痩せが生じた際にボルト、ナット、ビスのゆるむ場合がありますので、
半年に一度の割合で、各部品の締まり具合を点検してください。

注意

●デッキ上は必ず履き物を履いてご利用ください。裸足は危険です。小さなお子様が使用されるときは、特にご注意ください。
●商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃、荷重を与えると破損、倒壊事故の原因になります。
絶対にしないでください。
●無理な荷重をかけないでください。商品の上で飛んだり、跳ねたりしないでください。
ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。
●局部的に重い物をのせたり、立てかけたり、ぶらさげたりしないでください。ボールなど投げつけたりしないでください。
●安全性の高い材料を使用しておりますが健康を害する恐れがありますので、小さなお子様やペットがなめたり、
かじったりしないように注意してください。
●商品の切り口に切断時のささくれが残っている場合や、現場加工にともないささくれが発生する場合があります。
手などにケガをしないように、取り扱いには十分注意してください。
発見した場合は放置せず、施工店様に連絡してください。
●商品を改造したり、穴をあけたり、当社オプション品、付属品以外の取り付けは避けてください。
商品の性能が低下する可能性があり危険です。
●定期的に接合部のチェックを行い、ボルトや木ビス等のゆるみがあれば締め直しを行ってください。
お施主様でできない場合は、施工店様に依頼し必ず直してください。
●扉の開閉時は、体や衣服を挟まないように注意してください。
●雨の後などで濡れた状態でご使用になると、樹液などが表面に染み出して衣服等を汚す場合がありますので、
十分注意してください。
●積雪のある地域では、必要に応じて早期に除雪してください。
●長くお使いいただくためには定期的なメンテナンス（木材保護塗料の塗布など）をおすすめします。
●商品が破損したり、グラつく場合は、すぐに施工店様に連絡してください。
破損したままで使用していると事故の原因となり危険です。
●年数の経過により割れや腐食がひどくなった場合は、安全面を考えて使用を中止し、解体処分してください。
●雨をしのぐ構造になっていますが、天候により、雨が室内に入り込む場合があります。水に弱いものは収納しないでください。

お手入れ方法・塗装に関して

●天然木製品は、雨や紫外線により色褪せが生じます。いつまでもより美しくご使用いただくためにも、
1年を目処に、木材保護塗料の塗り替えをおすすめします。
●木材保護塗料を塗る場合は、施工店にご相談いただくか、市販の木材保護塗料をご購入のうえ、
お客様にて塗り替えを行ってください。
●お客様で塗り替えを行う場合には、各塗料に掲載されている注意事項を厳守してください。
●塗り替える前に商品を水洗いし、よく乾かしてから塗装してください。
●必ずハケで塗装してください。その後乾いた布でふき取ると、仕上がりが良くなります（ホワイト以外）。
保護塗料には薬品が含まれているので、スプレー塗装は避けてください。
●木の通気性を損なう種類のニスやペンキによる塗装は絶対に避けてください。表面に塗膜が形成され、
木材内部の水蒸気が発散されないため、内部で腐食する恐れがあります。
●商品にささくれ等が発生した場合は、ケガ防止のため速やかに、やすりがけや市販の木製用パテによる補修を行ってください。
また浮いた釘やビスは打ち込んだり締め直してください。

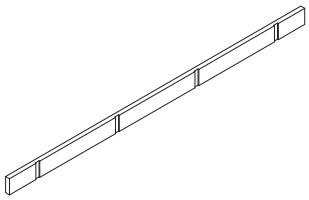
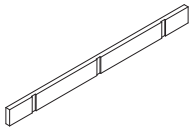
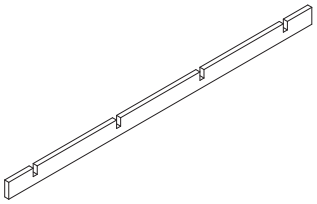
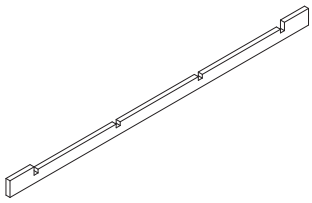
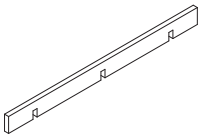
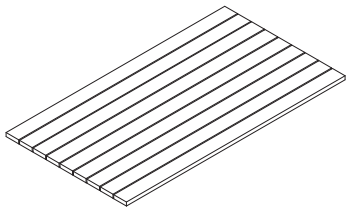
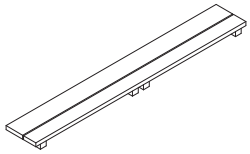
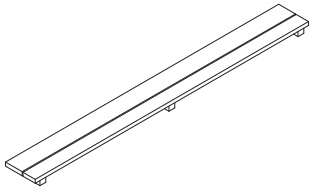
廃棄について

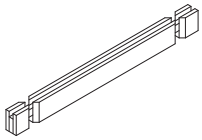
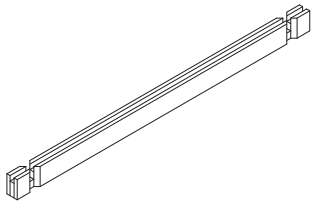
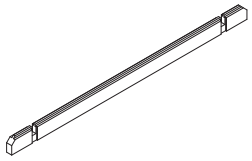
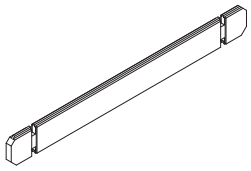
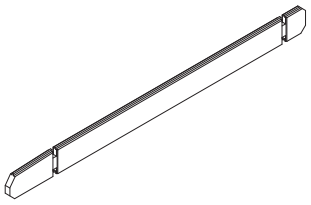
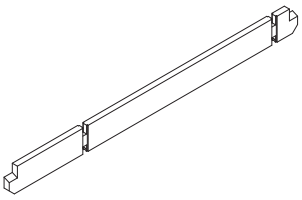
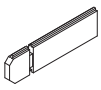
ご不要になった商品、また現場で発生しました残材等につきましては、産業廃棄物（安定型）になりますので、
各地域の条例等に従って正しく処分してください。

部品の確認

※下表をご参照のうえ、各部材、部品の有無を確認してください。

◆ e-ウッド シェッズ 16・09 梱包明細

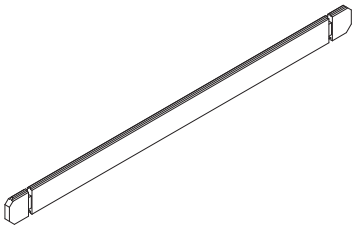
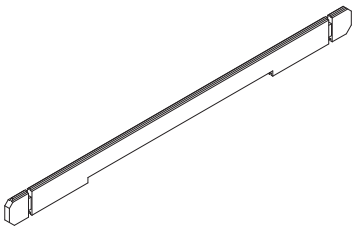
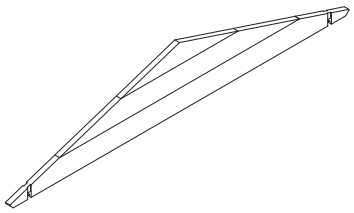
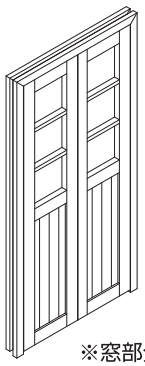
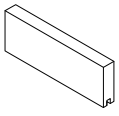
名　称	姿　図	数　量
底板 （前後）		2本 A梱包
底板 （両側）		2本 A梱包
底板 （横）		2本 A梱包
底板 （横 中）		1本 A梱包
底板 （縦）		4本 A梱包
デッキ （中心）		1個 B梱包
デッキ （側面）		2個 B梱包
デッキ （前後）		2個 B梱包

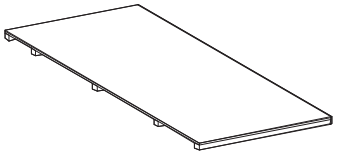
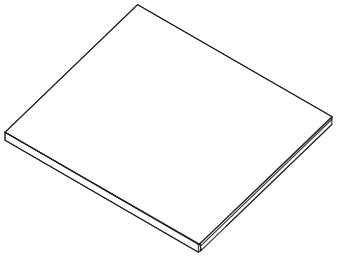
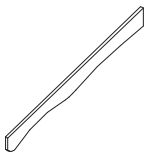
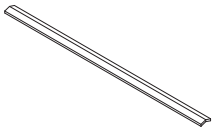
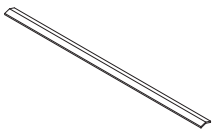
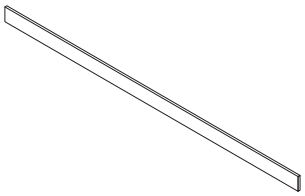
名　称	姿　図	数　量
地固め材 （前）		2本 C梱包
地固め材 （両側）		2本 C梱包
地固め材 （後）		1本 C梱包
壁板 （両側一番下）		2本 E梱包
壁板 （両側）		24本 F梱包 8本 G梱包
壁板 （両側上から 2番目）		2本 E梱包
壁板 （両側上から 1番目）		2本 E梱包
壁板 （前）		34本 G梱包

部品の確認

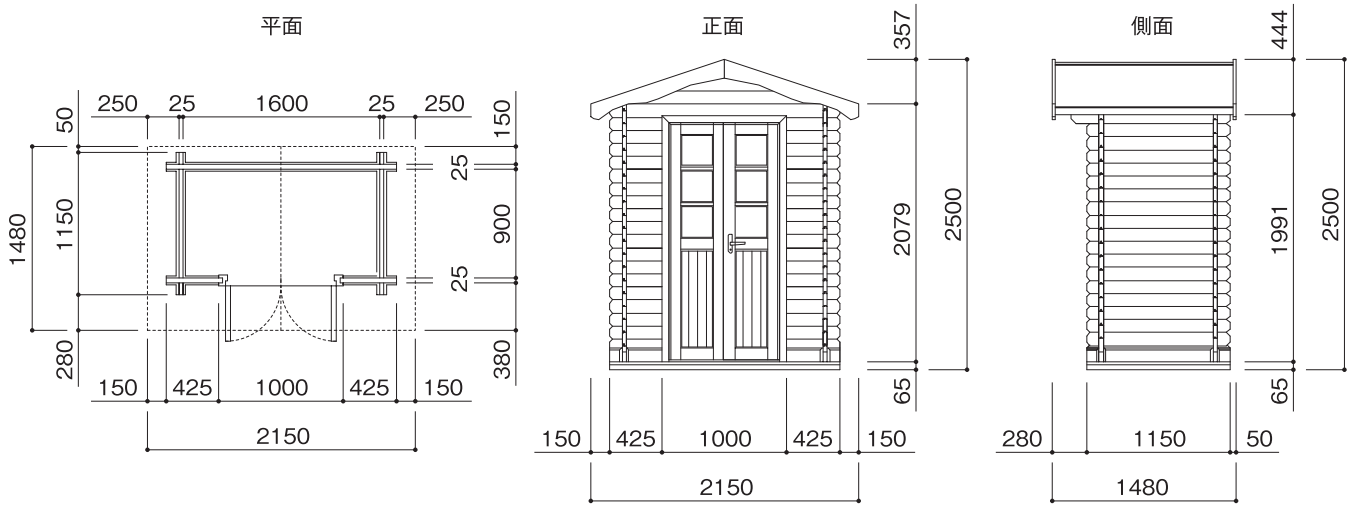
※下表をご参照のうえ、各部材、部品の有無を確認してください。
※別途、コーキングを現場用意してください。

◆ e-ウッド シェッズ 16・09 梱包明細

名　称	姿　図	数　量
壁板（後）		12本 D梱包 6本 E梱包
壁板（扉の上）		1本 E梱包
三角パネル（前後）		2枚 C梱包
四隅固定材		4本 H梱包
扉（ハンドル・鍵付）	 ※窓部分はポリカ	1枚 H梱包
補助部材（壁板組立材）		1個 A梱包

名　称	姿　図	数　量
屋根材（右）		1個 K梱包
屋根材（左）		1個 J梱包
屋根幕板（前後）		4本 C梱包
屋根頂材		1本 C梱包
防水シート		1個 A梱包
屋根幕板（両側）		2個 C梱包
ビス φ5×90		22本 A梱包
ビス φ4×60		14本 A梱包
ビス φ4×50		36本 A梱包
ビス φ4×40		80本 A梱包
屋根取付用ネジ φ4×40		6本 A梱包

基本寸法



組立・施工

本商品は重量物ですので、必ず基礎石もしくは土間コンクリート敷設の上に設置してください。

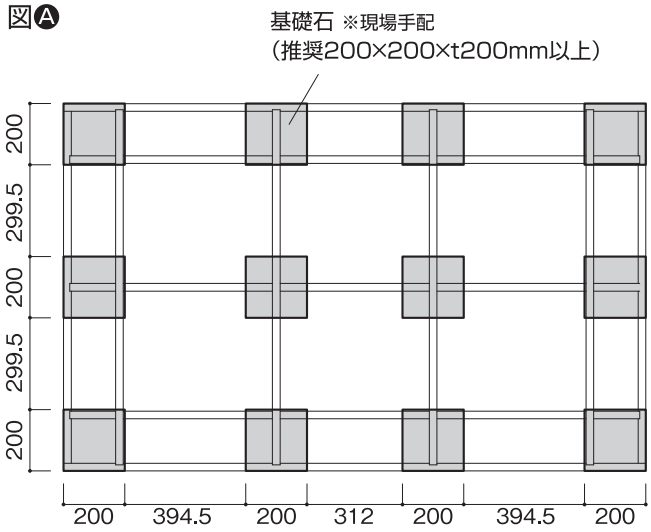
❶ 基礎石の設置

①基礎石位置図を参照して、墨出しをし、基礎石（現場手配）の位置を決めます。【図Ⓐ】

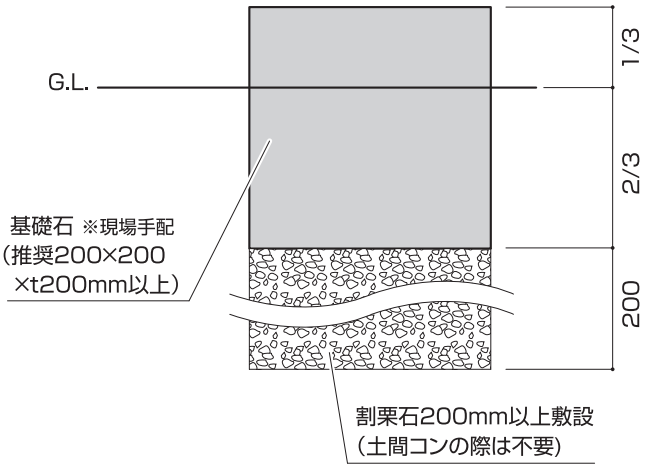
②各基礎石の位置を根切りします。基礎石の水平レベルを確認しながら、割栗石を敷き、突き固めます。

③基礎石の水平レベルを出します。地盤を突き固め、基礎石を埋め込み、基礎石のまわりをコンクリートで固めます。【図Ⓑ】

図Ⓐ



図Ⓑ 基礎全高の2/3以上を地中理設



ポイント

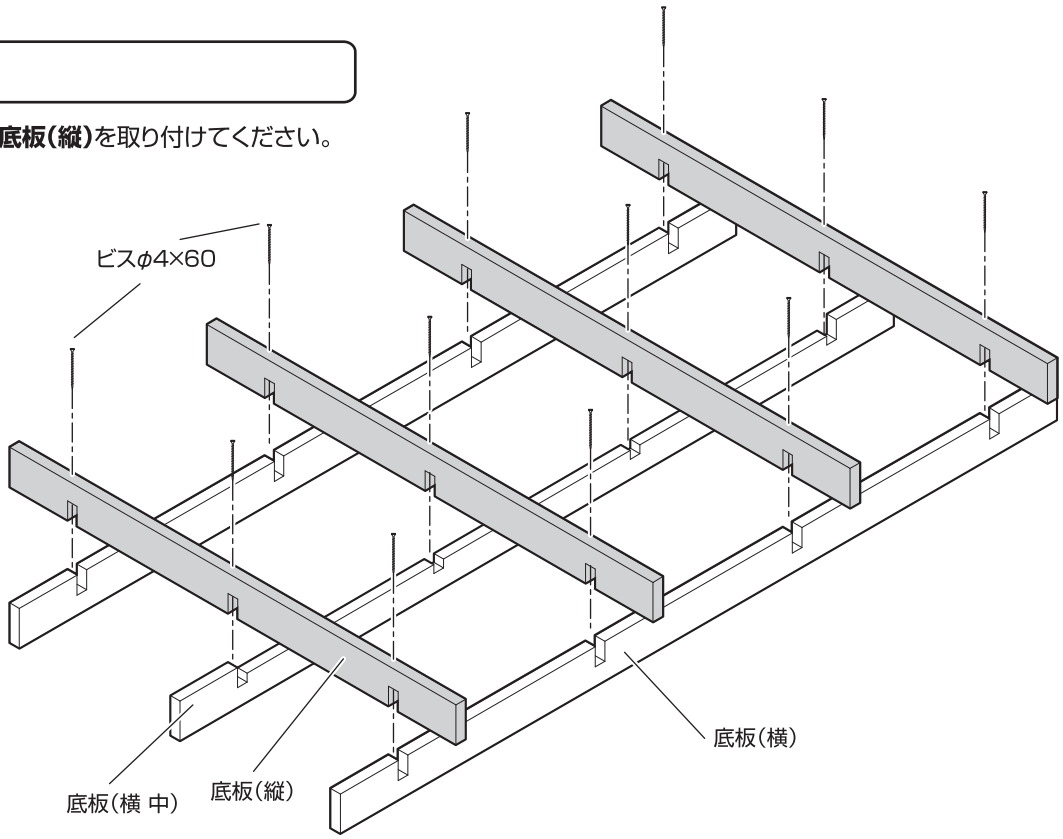
○基礎石は200×200×t200mm以上の物を推奨します。
○基礎石の2/3以上は必ず埋め込んでください。
○基礎石の設定作業が十分でないと、基礎の浮き沈みが発生する場合があります。

組立・施工

❷ 底板の組み立て

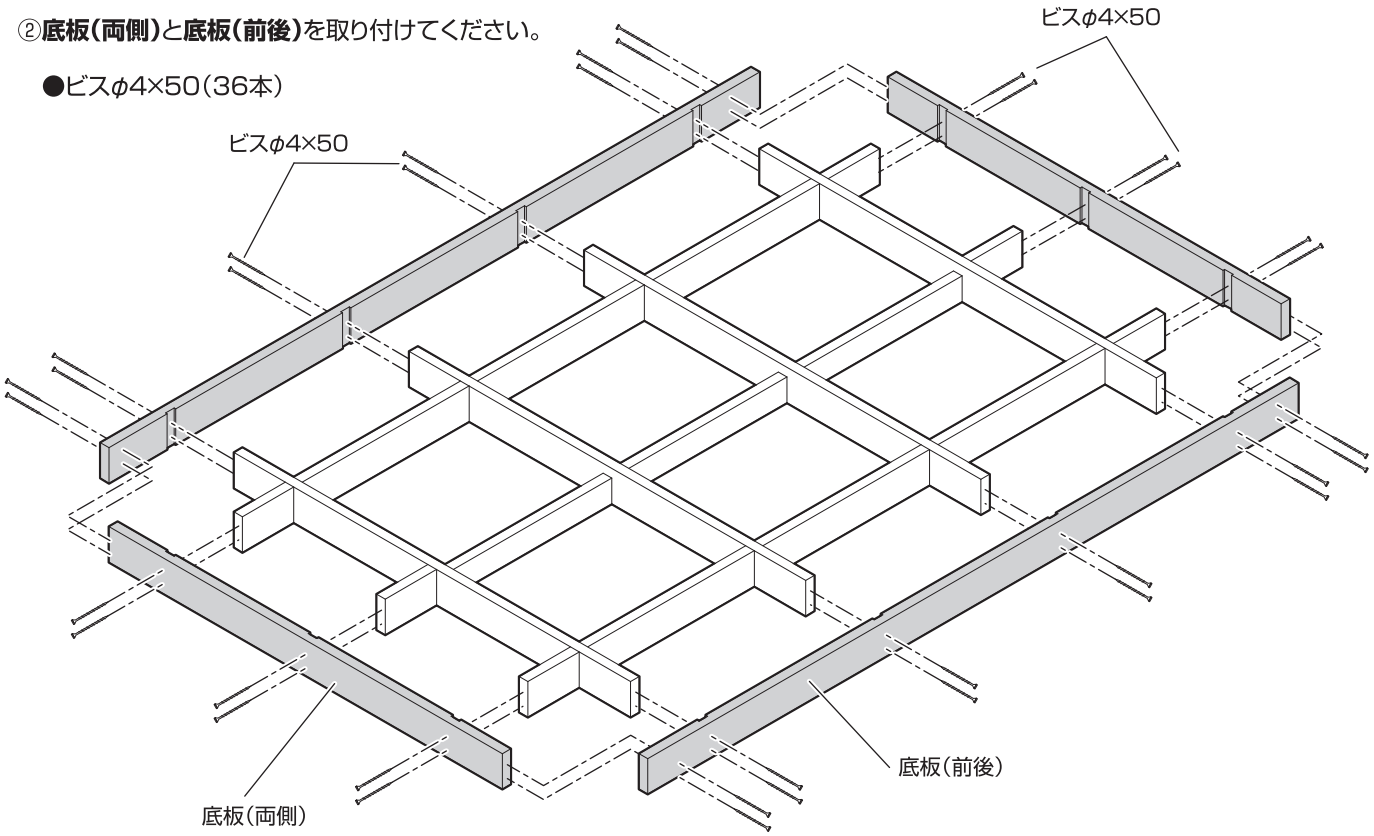
①**底板(横)、底板(横 中)**に**底板(縦)**を取り付けてください。

●ビスφ4×60(12本)



②**底板(両側)**と**底板(前後)**を取り付けてください。

●ビスφ4×50(36本)

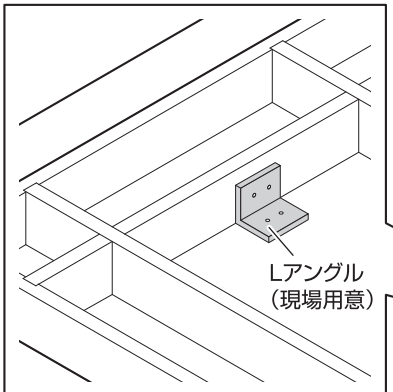


組立・施工

③組み立てた**底板**を基礎石に置いてください。

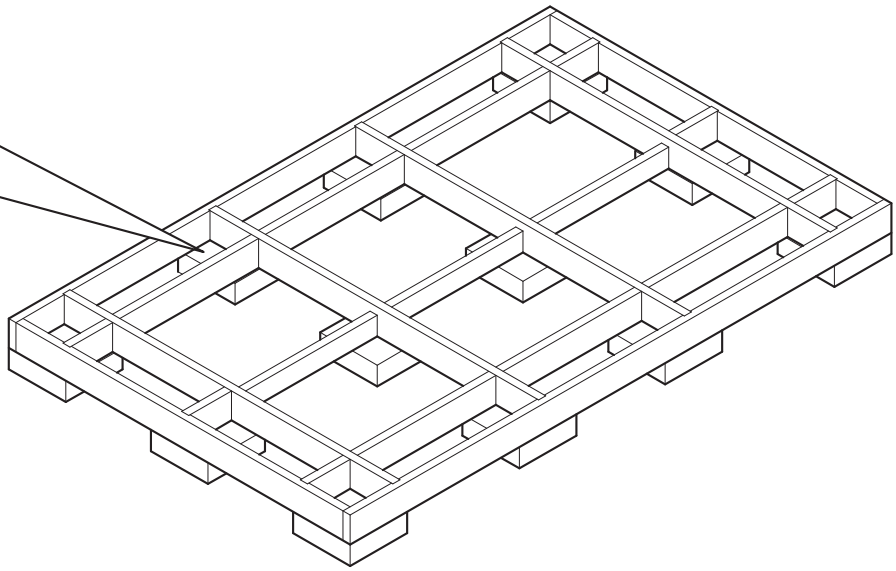
⚠ ご注意

強風対策として、基礎石と底板をL型金具などで固定してください。



<底板固定参考方法>

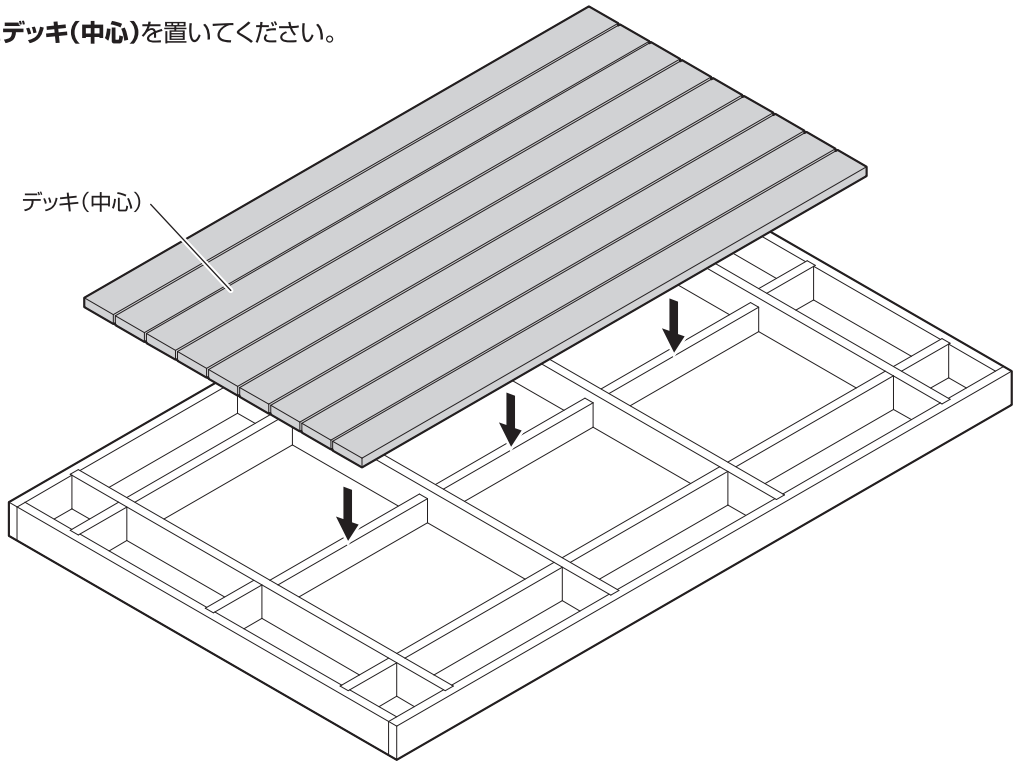
上図のようなLアングル（現場用意）を使用して地面に固定してください。この固定方法を参考に、組立場所や設置環境に応じて、固定方法を決定してください



❸ デッキの組み立て

①組み立てた**底板**に**デッキ（中心）**を置いてください。

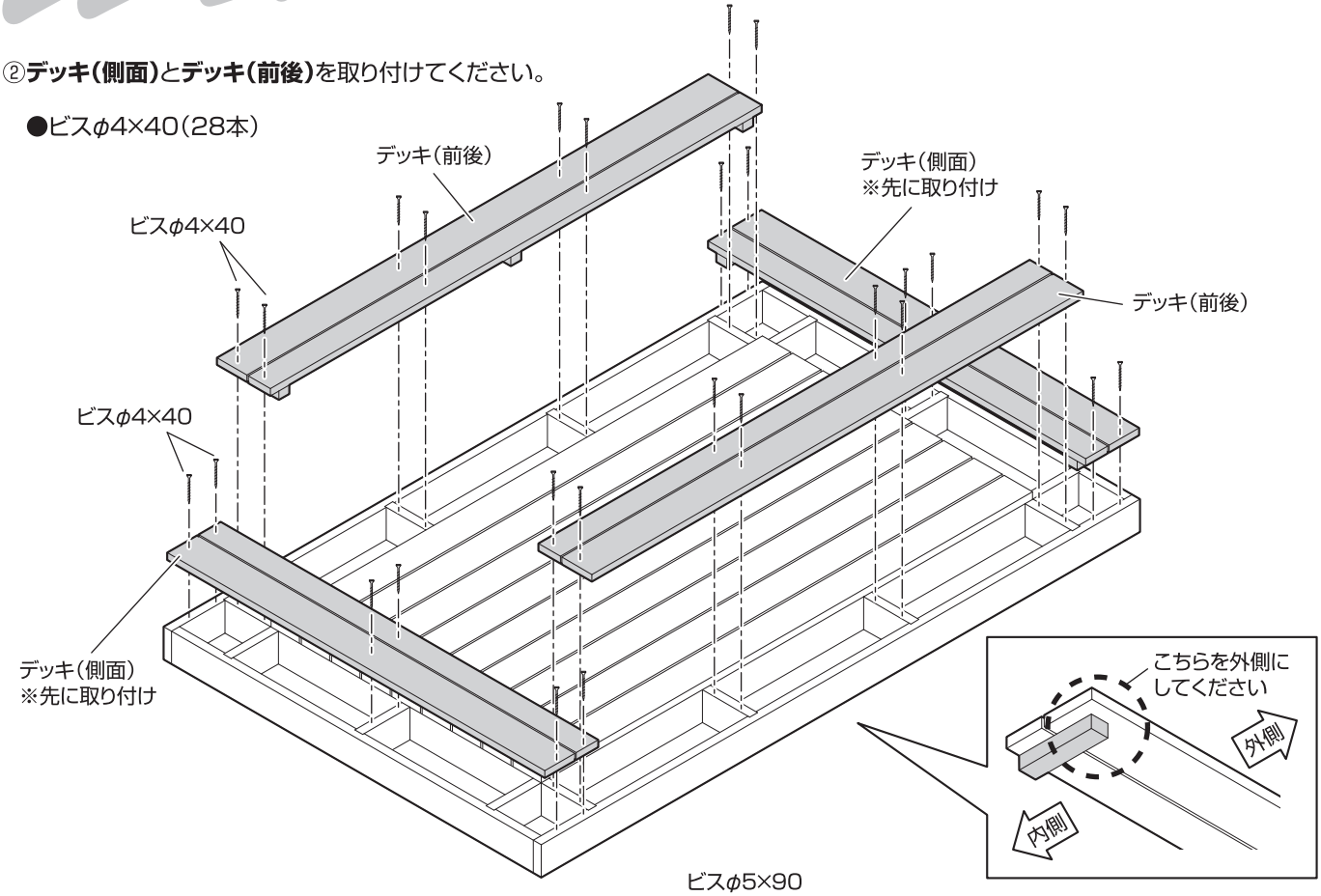
●ビス留めなし



組立・施工

②**デッキ(側面)**と**デッキ(前後)**を取り付けてください。

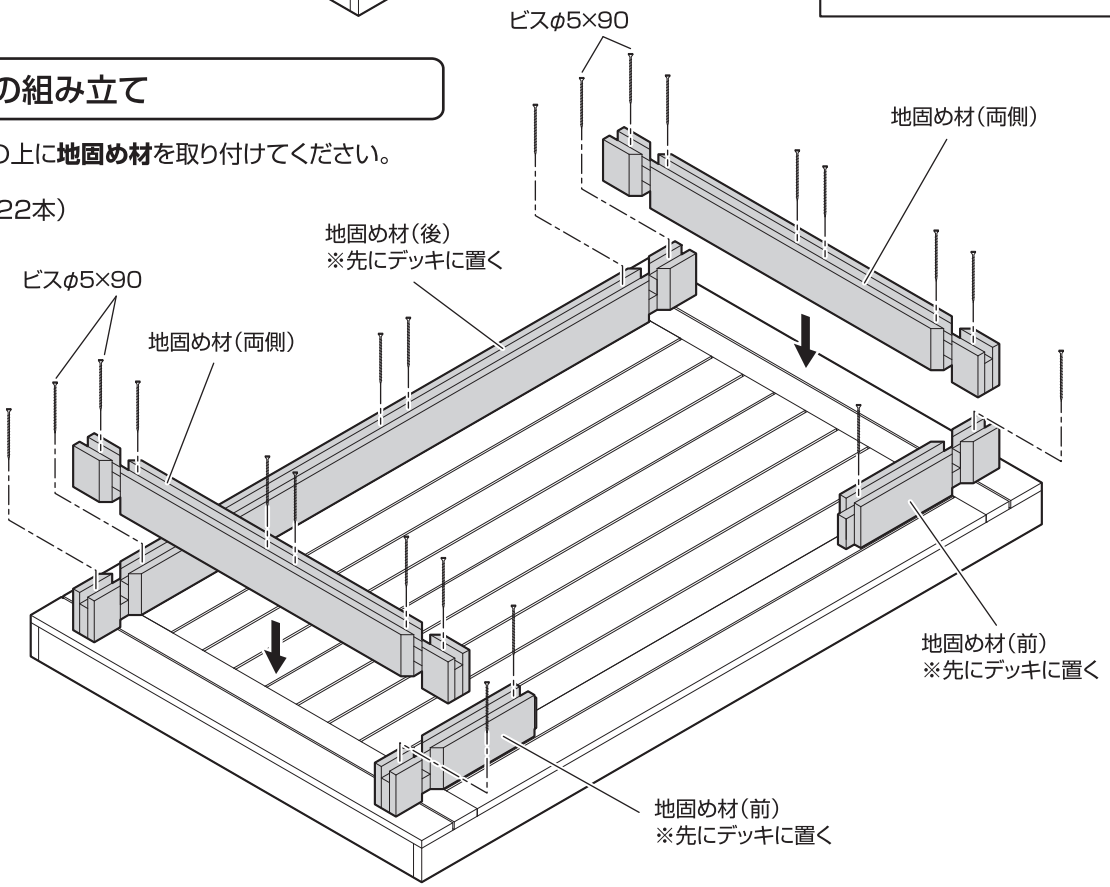
●ビスφ4×40(28本)



❹ 地固め材の組み立て

組み立てた**デッキ**の上に**地固め材**を取り付けてください。

●ビスφ5×90(22本)

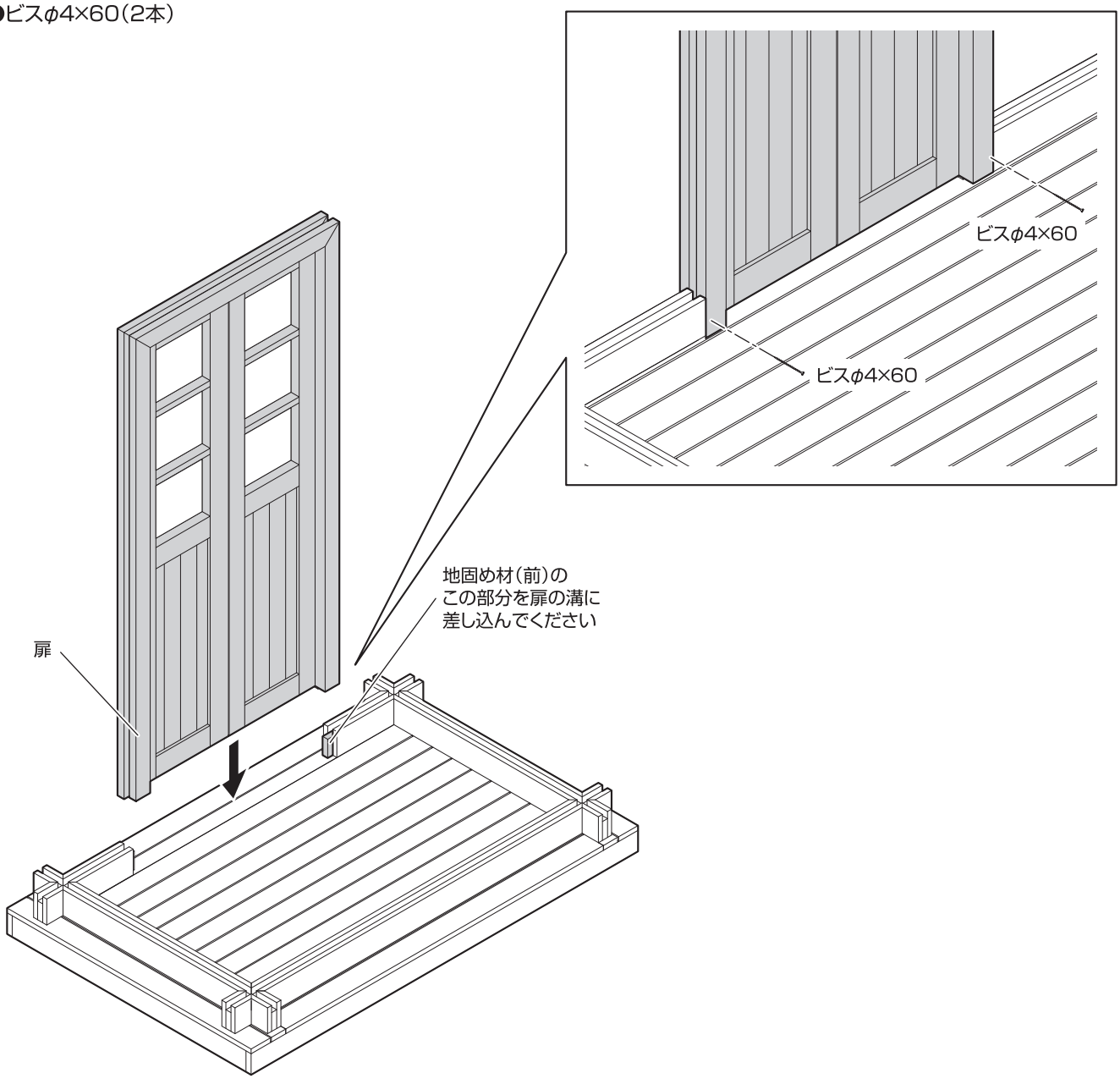


組立・施工

❺ 扉の取り付け

扉を**地固め材**の上から下に取り付けてください。

●ビスφ4×60（2本）

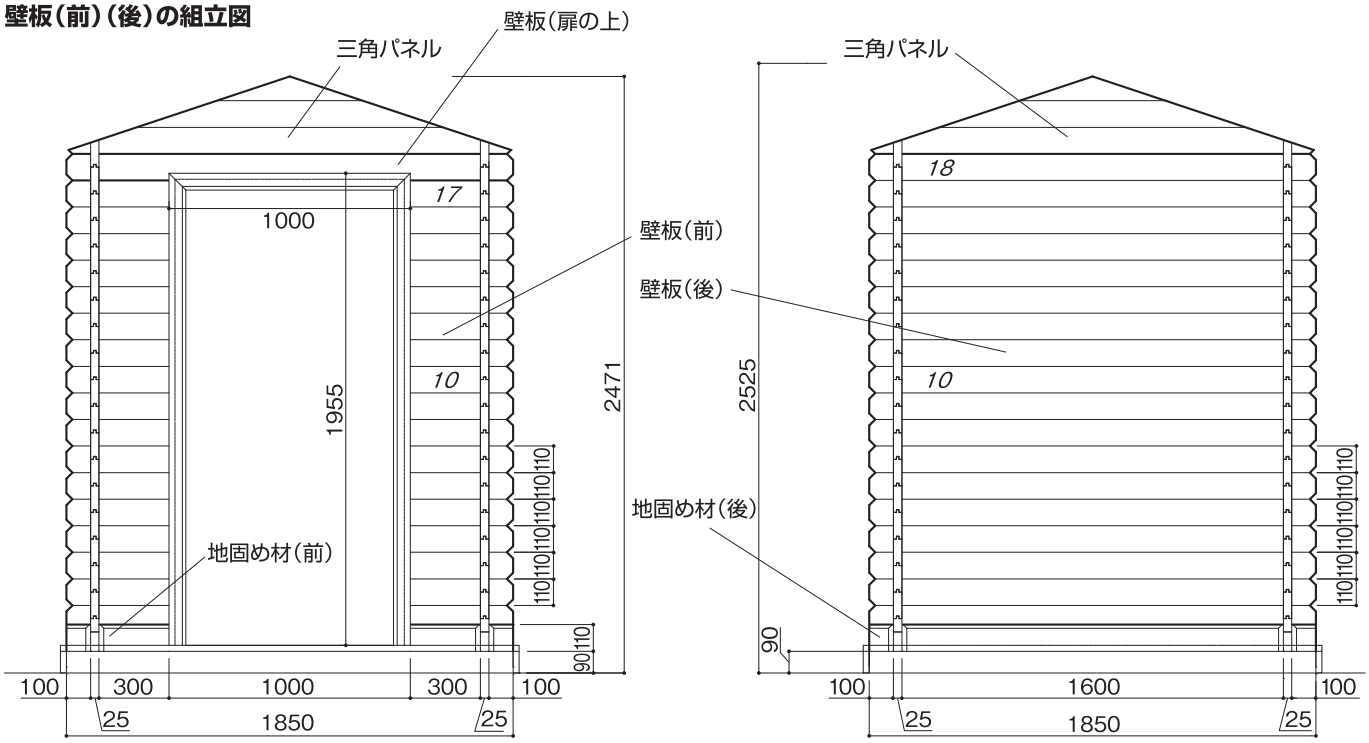


組立・施工

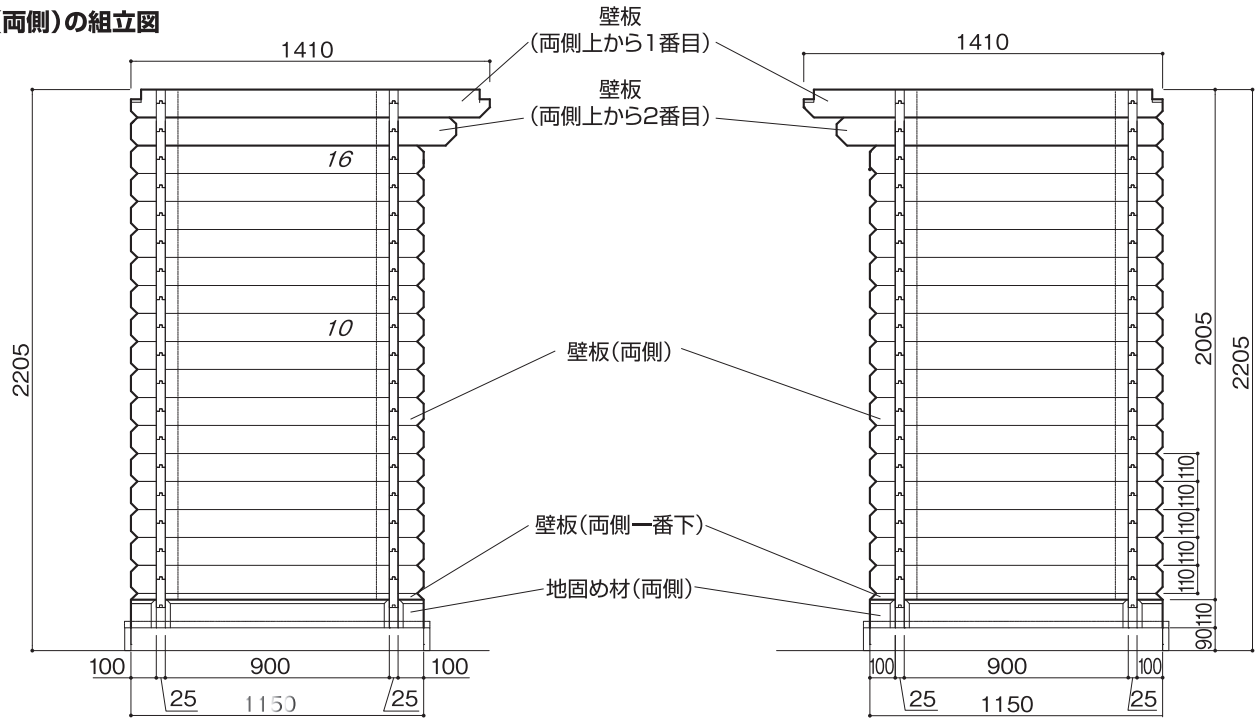
❻ 壁板組立図の確認

壁板（前）、（後）の組立図と**壁板（両側）の組立図**を参考に部材の使用する場所を確認します。

壁板（前）（後）の組立図



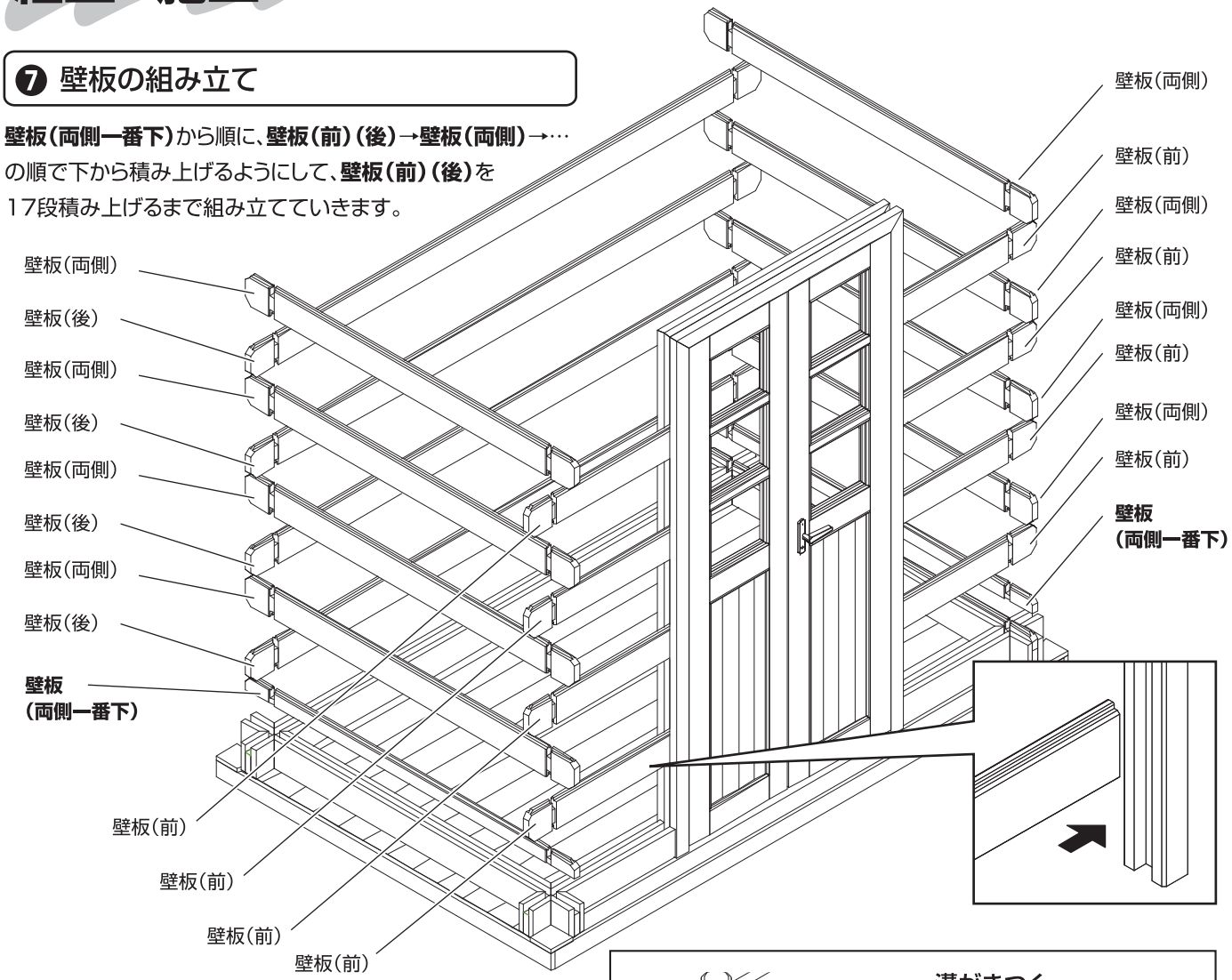
壁板（両側）の組立図

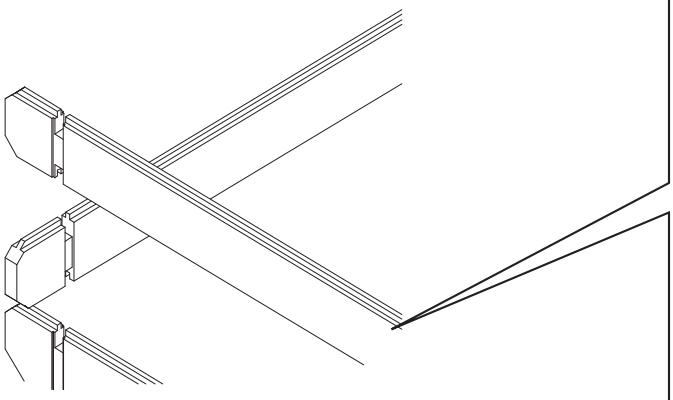


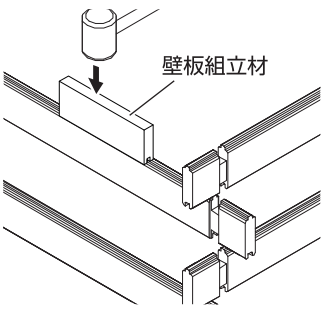
組立・施工

❼ 壁板の組み立て

壁板（両側一番下）から順に、**壁板（前）（後）→壁板（両側）**→…の順で下から積み上げるようにして、**壁板（前）（後）**を17段積み上げるまで組み立てていきます。

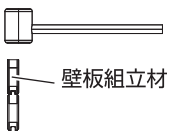


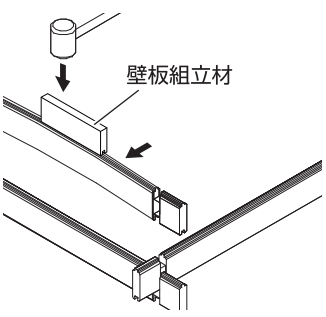




溝がきつく入りにくい場合

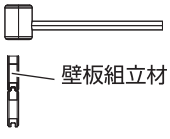
壁板組立材を使用し、ソフトハンマー等で適度な力でたたいてください





木材に反りがあり入りにくい場合

片側を先に差し込み、少しずつソフトハンマー等を使用し、溝に差し込んでください



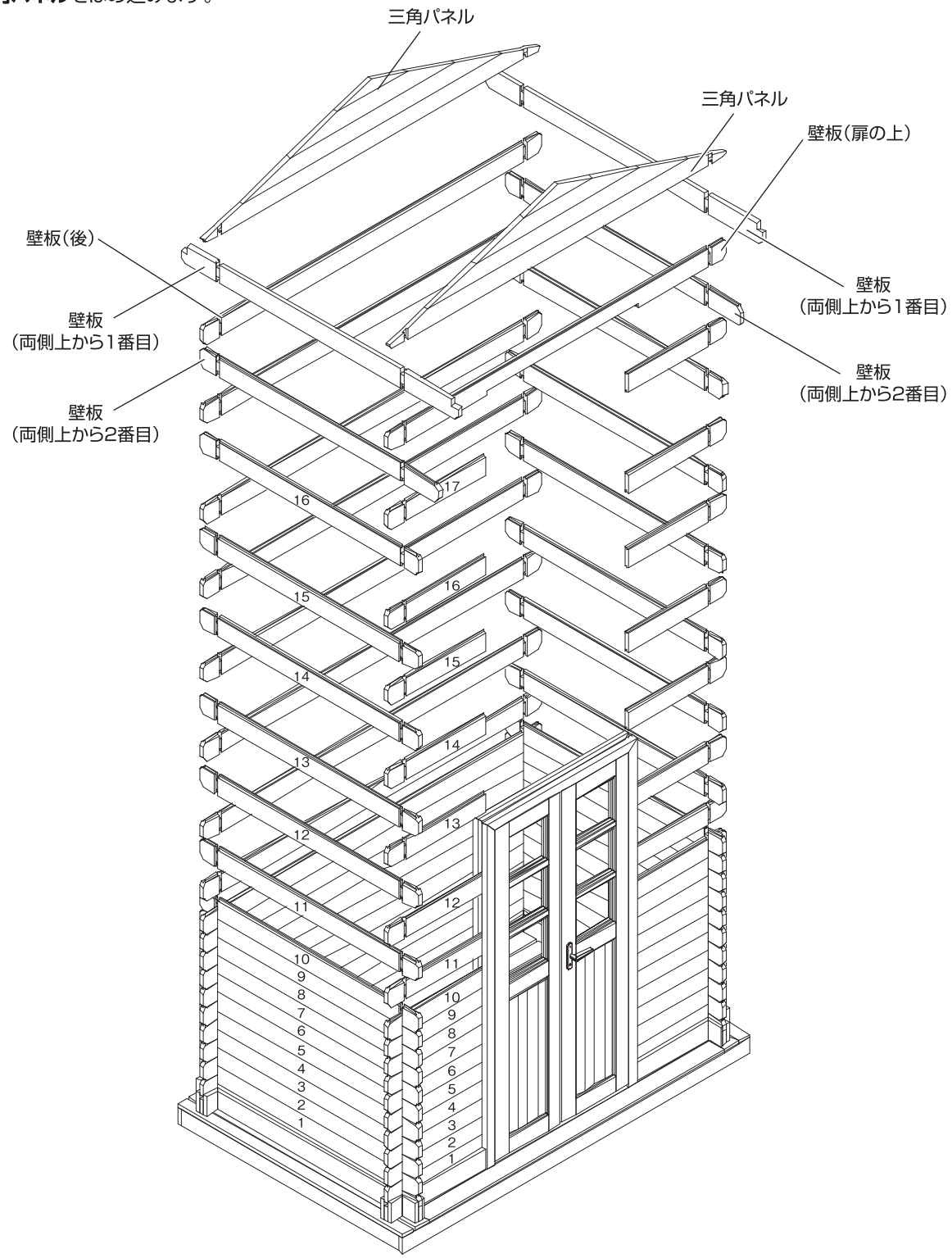
⚠ ご注意

ウッドの天然特性で、木材には変形や反りの現象があります。もし、その問題にあった場合右記の方法をご参考ください。

組立・施工

❽ 壁板上部の組み立て

壁板（前）を17段組み上げた後、**壁板（両側上から2番目）→（扉の上）→（後）→（両側上から1番目）**の順で、
最後に**三角パネル**をはめ込みます。

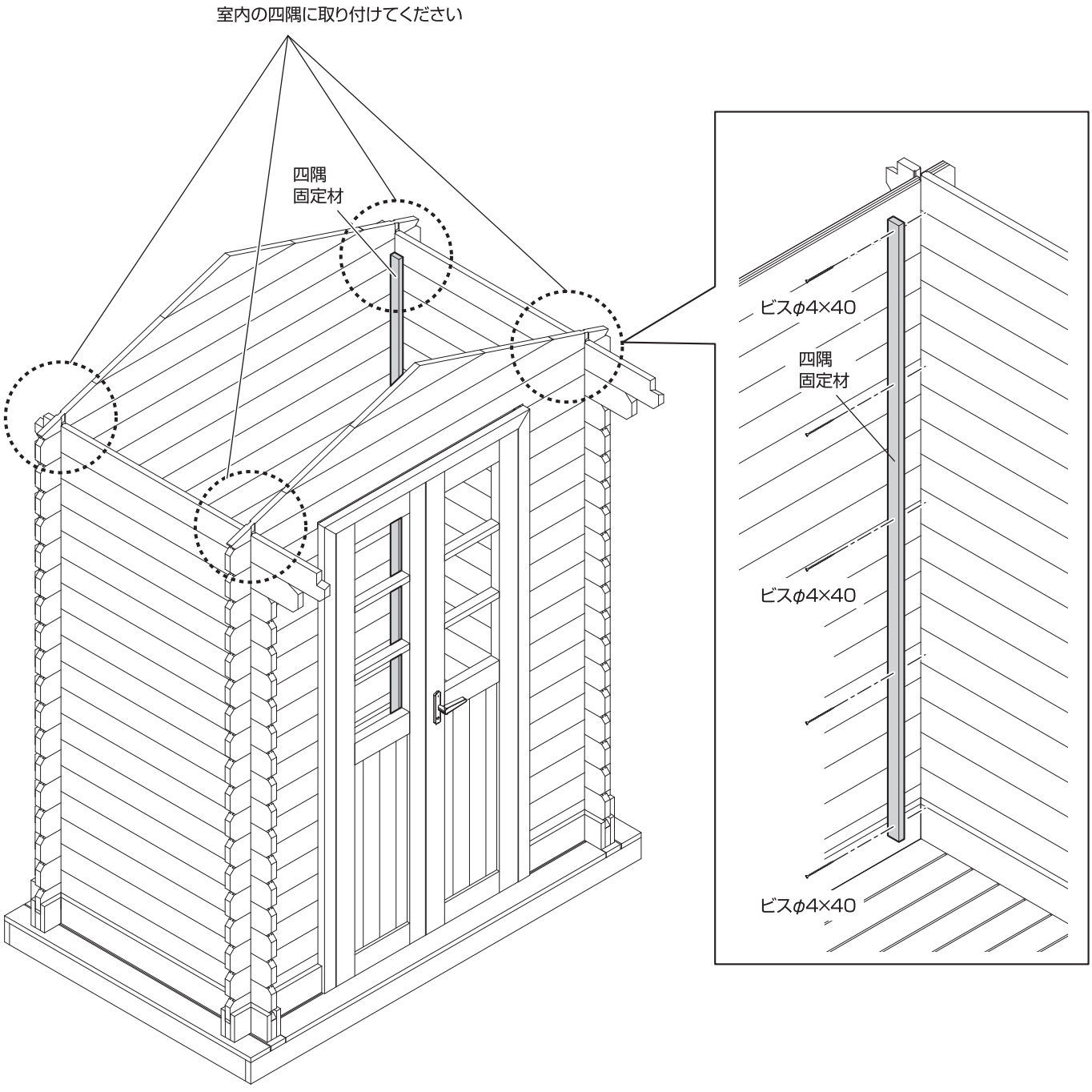


組立・施工

❾ 四隅固定材の取り付け

室内の四隅に**四隅固定材**を取り付けてください。

●ビスφ4×40（20本）

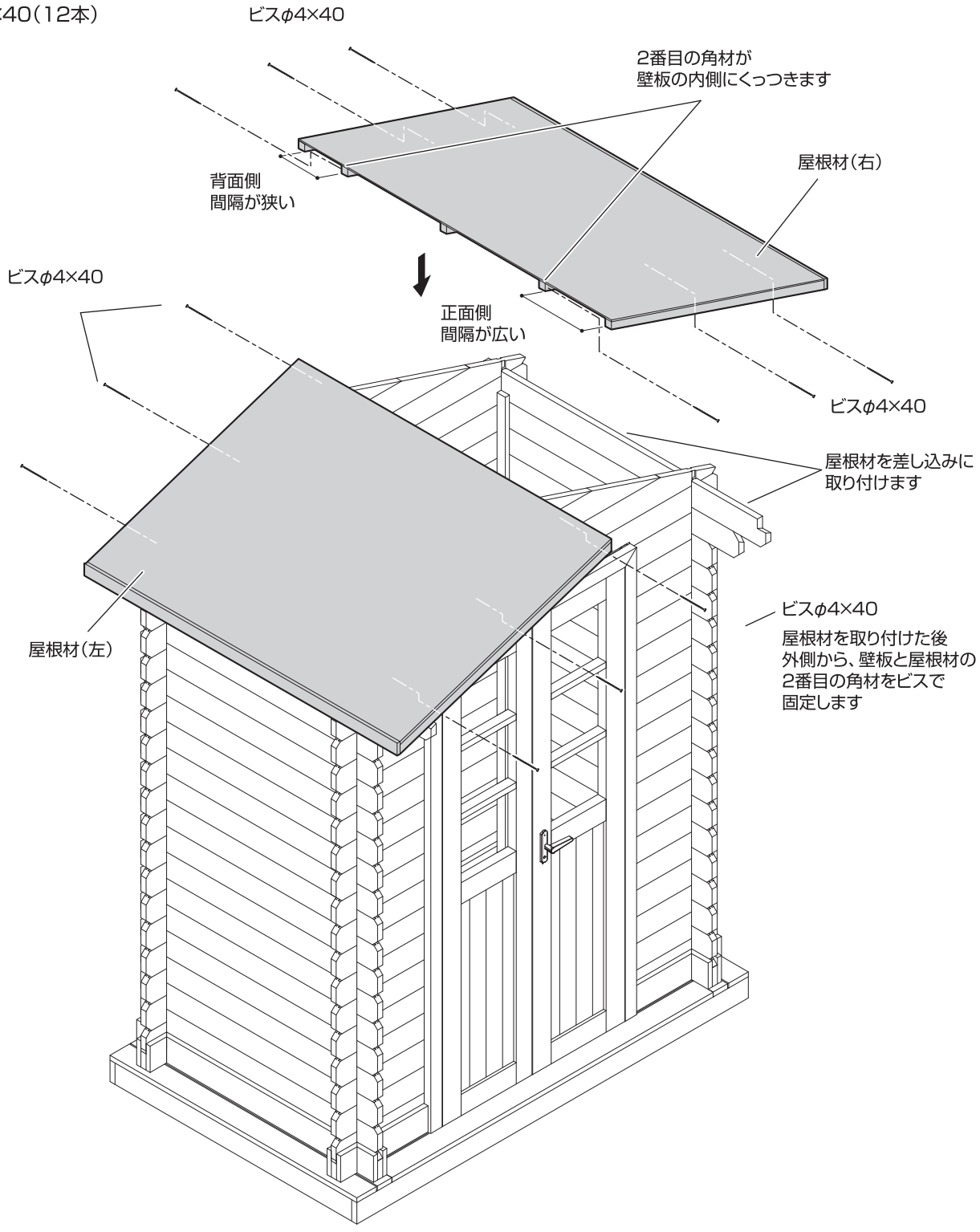


組立・施工

⑩ 屋根材の取り付け

屋根材(右)、屋根材(左)を取り付けてください。

●ビスφ4×40(12本)



組立・施工

⑪ 屋根部の組み立て

屋根材（左右）のつなぎ目部分にコーキング処理を行います。
※コーキング剤は、別途、現場用意してください。
①屋根幕板（前後）、**②防水シート**、**③屋根頂材**、**④屋根幕板（両側）**の順番に取り付けます。

●ビスφ4×40（20本）
●屋根取付用ビスφ4×40（6本）